

名前：

私としては新聞や雑誌はなくならないように思える。確かに昨今新聞の需要は少なくなっている。それはインターネットが普及しているからだというのはわかる。けれどもインターネットというのはどこでも見れるわけではない。例えば地下鉄の中。地下では電波が届くような環境ではないため、携帯端末やパソコンでのインターネット閲覧はできない。しかしニュースを詳しく知りたいという時はどうすればいいのか。それは朝の電車風景を見ればわかるが新聞や雑誌を見ることがある。新聞や雑誌というものはそれほど荷物としてかさばるわけではなく、更にどこでも見れるという利点がある。インターネットと雑誌、新聞で後者が最も優れている点は持ち運びがしやすく、またどのような状況でも閲覧することができるといった点だと私は考えている。

一方インターネットの利点というのは、何かと考えてみる。それは何と言っても情報伝

達の速さだろう。世界中のニュースでもインターネット上に一度書き込めばたちまちあらゆる場所に配信される。それに対し新聞や雑誌というものは刷るという作業だけでなく個々に届くまでの過程がある。ただこれを裏返して考える。インターネット上のニュースというものは確実性がいまいちではないかと考える。新聞や雑誌の方が、遅い分裏付けが取れ、ニュースそのものに信用がかけると考えられるのではないか。

それに新聞や雑誌というものは本人が手元に置いておけばいくら昔のニュースでさえも見れる利点もある。インターネット上のニュースというものは古い物は配信元が消していくため、閲覧者の意志に依らないからだ。

以上3つの新聞、雑誌の利点を挙げてみた。インターネットがこれらの利点を上回らない限りその利点を重視する人々の需要はあるため存在意義はあると考えられる。

1800字